

普通期稲作情報 第1号

J A む な か た
北筑前普及指導センター

今年度の田植えは6月10日頃から始まっており、順調に田植え作業が進んでいます。
今後は以下の管理作業を行ってください。

1. 水 管 理

稲の活着後は間断かん水とします。分けつが株当たり20本程度確保できたら（6月上旬植えの早植田では田植え後約30日、6月20日植えの普通期では田植え後約25日）中干しを行ってください。

- 中干しの効果**
- ① 土壌のガス抜きと酸素の供給により根の活性が増し、根腐れを防止します。
 - ② 窒素吸収を抑制し、無効分けつを抑えます。
 - ③ 根の生育が旺盛になり、倒伏が軽減されます。
 - ④ 土壌が固まるため、収穫直前まで入水でき、籾の充実向上につながります。

中干し開始の目安	1株当たり18～20本程度（田植え後25～30日程度）
中干しの期間	7日程度行います
中干しの程度	田面に小さな亀裂（小指くらい）が入る程度 生育不足の場合や水持ちの悪い田では、軽めに干しましょう 生育過剰の場合や排水不良の田では、強めに干しましょう
中干し終了後	急に溜め水をすると根を傷めるので、間断かん水か飽水（ひたひた水）管理をしてください

※中干し前に溝切りを行うと、水管理がスムーズに行えます。

2. 病 害 虫 防 除

現在のところ、問題となっている病害虫の発生は認められていませんが、今後ほ場での発生状況に注意して必要に応じて補正防除を行ってください。

★病害

○紋枯病については、高温条件で発生しやすいため、昨年、発生したほ場では、**オリブライ**
ト 250G又は、**モンセレンフロアブル**による補正防除を行ってください。

病名	薬剤名	散布量 (10a 当たり)	散布時期
紋枯病	オリブライト250G	250g	出穂10日前まで、 但し収穫45日前まで
	モンセレンフロアブル	1500倍	収穫21日前まで

○いもち病の発生しやすいほ場は(昨年多発生したほ場、冷や水が入るほ場、日陰の多いほ場、野菜跡などの窒素が効いて軟弱な生育のほ場等)発生に注意しましょう。

下記の表を参考にして補正防除を行って下さい。

病名	薬剤名	散布量 (10a 当たり)	散布時期	使用上の注意
いもち病	コラトップ豆つぶ	250 g	・葉いもち 初発10日前～初発時 ・穂いもち 出穂30日前～5日前まで	<ul style="list-style-type: none"> ・夢つくし ・つくしろまん ・元気つくし は、いもち病に弱いので、葉いもちを発見次第、早急に防除を行いましょ。
	ノンプラスフロアブル	1000倍	発生初期 (収穫7日前まで)	
	ビーム粉剤DL	3～4kg	発生初期 (収穫7日前まで)	

3. 除草対策(中後期除草剤)

雑草が残っているほ場では、草種に合わせ下記の薬剤を散布してください。

対象雑草	薬剤名	10a 当たりの 使用薬量	10a 当たりの 希釈数量	使用時期
ノビエ アゼガヤ キシウスズメノヒエ	クリンチャー 1キロ粒剤	1 kg	湛水散布	移植後7日～ ノビエ4. 0葉期 (収穫30日前まで)
		1.5 kg		移植後25日～ ノビエ5. 0葉期 (収穫30日前まで)
	クリンチャーEW	100ml (展着剤加用)	100ℓ 湛水または 落水散布	移植後20日～ ノビエ6. 0葉期まで (収穫30日前まで)
	トドMF乳剤	200ml	100ℓ 湛水または 落水散布	移植後14日～ ノビエ7. 0葉期 (収穫50日前まで)
広葉 ホトケアザミ、ヤツリグサ等	バサグラン (Na) 液剤	700ml	100ℓ 落水散布	移植後15日～55日 (収穫50日前まで)
ノビエ 広葉 カタクリグサ	クリンチャーバス ME 液剤	1000ml	100ℓ 落水散布	移植後15日～ ノビエ5. 0葉期まで (収穫50日前まで)
	アクシズMX 1キロ粒剤	1 kg	湛水散布	移植後7日～ ノビエ4. 0葉期 (収穫前45日前まで)
	レプラスジャンボ	10パック (400g)		移植後14日～ ノビエ4. 0葉期 (収穫前60日前まで)

※早めの雑草対策を心掛けましょう！